

平成22年4月発行

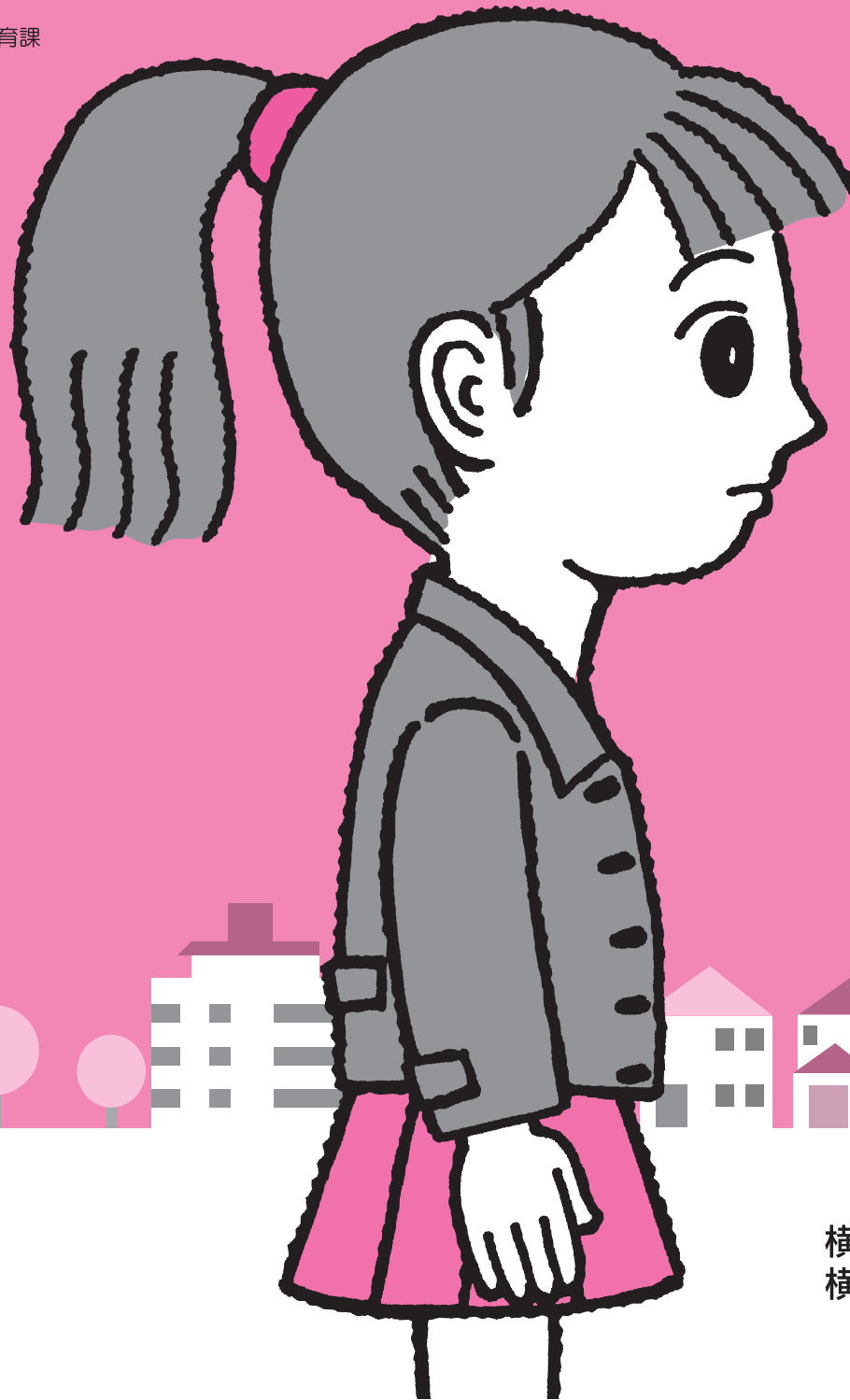
監修・編集発行 ● 横浜市消防局危機管理課

監 修 ● 横浜市教育委員会事務局小中学校教育課

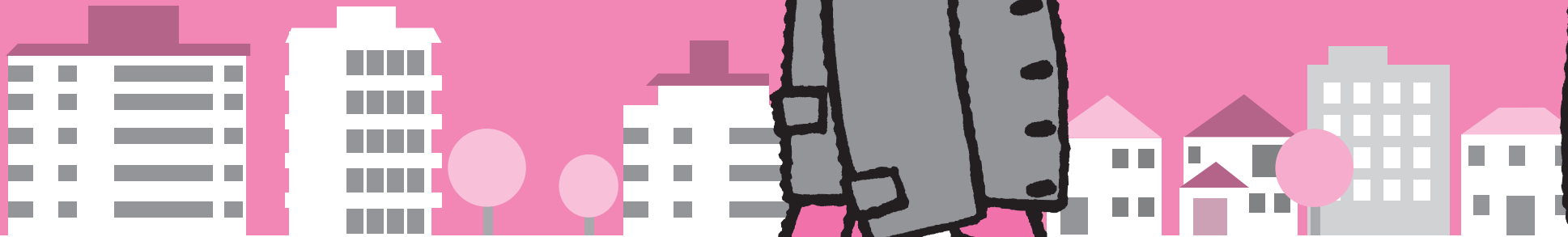
レイアウト ● 有限会社もあスタジオ

イラスト ● 村永 泰

印刷 ● (株)エイコープリント



じしんとわたしたち



横浜市
横浜市教育委員会

6 6 こう水など さまざまな災がいについて

じしんいがいの災がいが起こったときに
どうする？

みなさんがするべきことが大きくかわる
ことはありません。先生や家ぞくなどのい
うことをよくまもって、すばやく、あわて
ず行動してください。



へいせい ねん がつ にち はんしん あわ じ だい
平成7年1月17日、阪神・淡路大しんさい
が occurred. 死者は6000人をこえ、お
おくの人がけがをし、64万の家がこわれま
した。平成16年10月23日の新瀉県ちゅうえ
つじしんでも、おおくの人がひがいにあいま
した。

おお
大きなじしんがおこると、わたしたちのまち
はどうなるのでしょうか。

1 1 大じしんのおそろしさ

◆たて物がこわれる

大じしんでは、1分ぐらいのゆれで、た
くさんの家やたて物がこわれてしまいます。
大きなビルでも、まどガラスがわれて飛び
ちり、かたむいたり、つぶれたりするこ
とがあります。

がっこう きょうしつ
学校の教室も、かべがはがれたり、まど
ガラスがわれたりするかもしれません。

◆^{みち}道がとおれなくなる

道路に大きな地われが起きたり、^{でんちゆう}電柱がたおれたり、へいや家がたおれたりして、人や車はとおれなくなります。ひなんする人で道があふれているかもしれません。道路の下にある^{すいどう}水道かんや^{はし}ガスかんも、こわれてきけんな場合があります。^{はし}橋も落ちていることがあります。



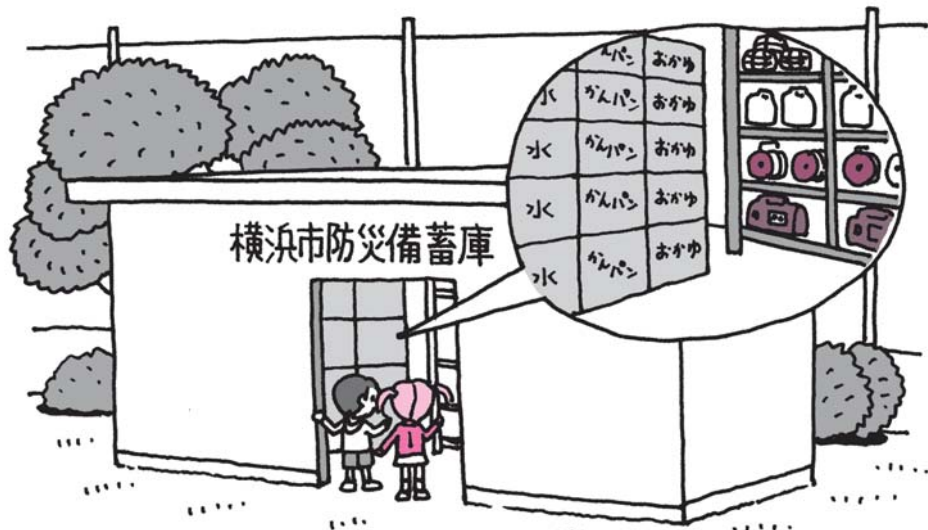
◆^{おおかじ}大火事になる

大じんがおこると、町のあちらこちらで火事がおこることもあります。きけんな^{やくひん}薬品を使っている工場がそばにあり、^{はつ}ばく発がおこるかもしれません。家からひなんするときには、かならず^{でんき}電気のブレーカーを切り、^{もと}ガスの元せんをしめましょう。阪神・淡路大しんさいでは火事がおきたとき、^{しょうぼうしゃ}消防車だけでは足りず、^ち地いきの人たちがきょうりやくして、^ひバケツリレーで火をけしたところもありました。



◆^{とち}がけくずれや地われがおこる

じんがおこると、やわらかい土地では、がけくずれや地われがおこり、たいへんきけんです。じゅうぶん^{ちゆうい}注意しましょう。



◆地いき防災きよてん

大じしんがおきたときに、家にいることができなくなったみなさんがひなんする場所は、よこはま市では地いきごとに指定されたちかくの小・中学校となっています。ここには、のみ水、かんパン、おかゆ、きゅう助道具や仮設トイレなどがおいてあり、地いきの人たちが中心となって、ひなんした人のめんどうをみます。

みなさんの学校もひなん場所になっていますので、防災備蓄庫とかかれたそう庫の中を一度みておきましょう。

2 大じしんがおこったら

じしんは、おそろしいものですが、一人ひとりの心がまえ・備えとみんなの協力でひがいを小さくすることもできます。

あわてないで、さわがず、学校では先生、家では家ぞくの人、デパートなどではお店のひとの言うことにしたがって、安全に行動しましょう。



◆学校の校しゃ内こうないにいるとき じしんがおこったら……………

《教室きょうしつで勉強べんきょうしているとき》

- 机つくえの下したにもぐる。
 - 天てんじょう・かべ・たなの上などから落ち
てくるものに注意ちゅういする。
 - 先生の言うことをよく聞く。
 - 防災ずきんをかぶる。
 - おしあわず、しずかに校庭こうていに出て、きち
んとならび、つぎの話はなしをまつ。
 - まどガラスからはなれる。
 - 家ぞくのむかえをうける。
- (この学校では、)



《図書室としょじつにいるとき》

- 本ほんだながたおれたり、いっせいに本が落
ちてきたりするので、すぐ本だなから、
はなれる。

《理科室りかしつでは》

- 火ひを使つかっているときは、すぐにけす。ガ
ラスびん、アルコールや薬品があるので、
おいてあるたなから、はなれる。

^{うんどうじょう}
◆運動場にいるときには……………

- すぐに運動場の中央^{ちゅうおう}にあつまって、先生の言うことにしたがう。
- 上^{うえ}から落ちてくるものに気をつける。
- バスケットやサッカーのゴール、たてもののかべ、へいからはなれる。

^{やす} ^じ ^{かんちゅう}
◆休み時間中では……………

《ろうかにいるとき》

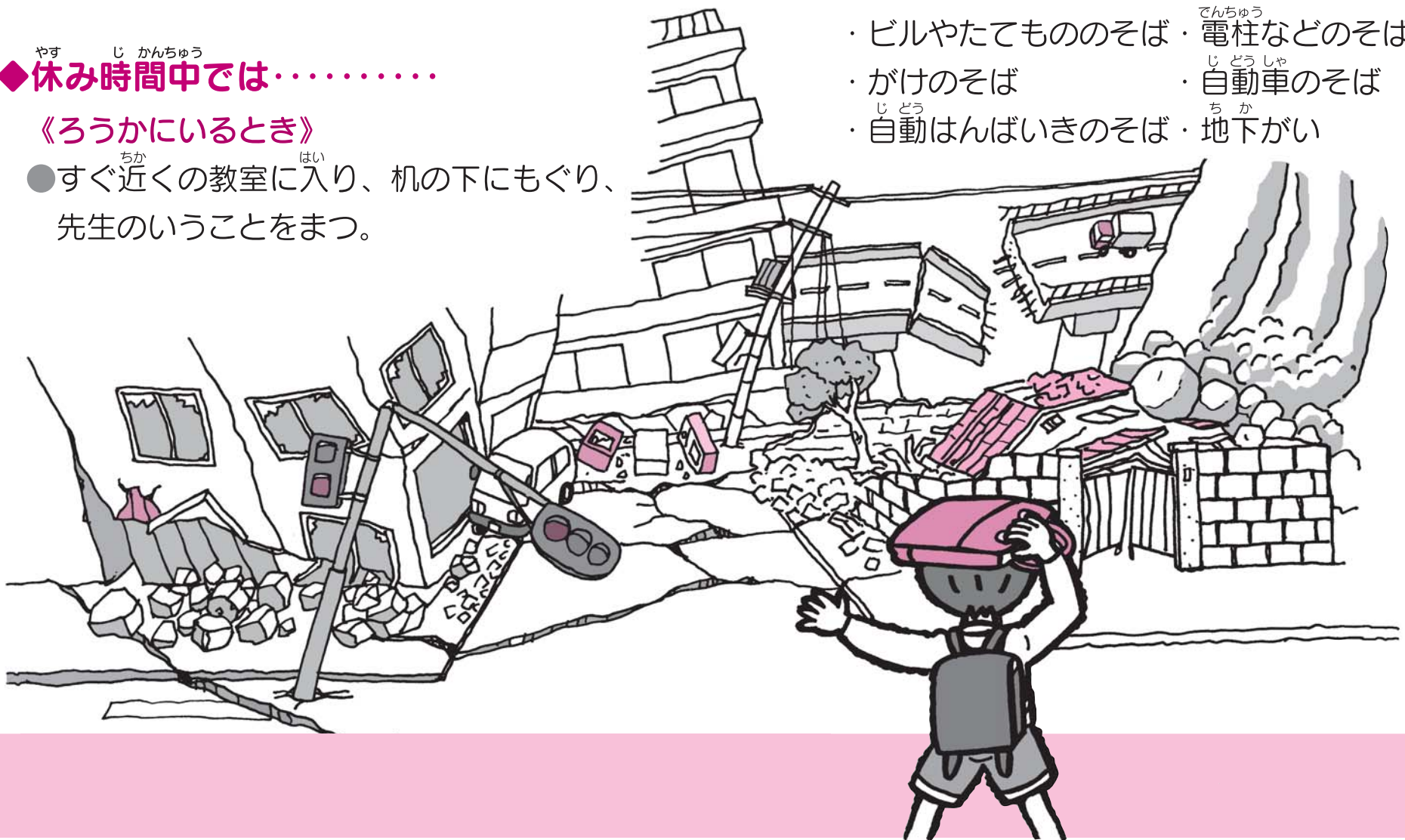
- すぐ近く^{ちか}の教室^{はい}に入り、机の下にもぐり、先生のいうことをまつ。

^い
◆学校の行きかえりに
地しんがおこったら……………

- すぐにきけんな場所からはなれ、安全な場所でゆれのしずまるのをまつ。

《きけんなばしょ》

- ・ブロックべいのそば
- ・橋^{はし}の上^{うえ}
- ・ビルやたてもののそば
- ・電柱^{でんちゅう}などのそば
- ・がけのそば
- ・自動車^{じどうしゃ}のそば
- ・自動はんばいきのそば
- ・地下^{ちか}がい



◆家にいるときにおこったら……………

- あわてて外にとび出さない。
- 机の下などにもぐって、ゆれがしずまるのをまち、家ぞくでまとまってひなんする。
- 2・3階にいるときは、あわてて下におりない。
- 火を使っているときは、ゆれがおさまってから、あわてずに火をとめる。



◆外出中にじしんがおこったら……………

- 映画かんやデパート、地下がいなどではあわてて出口に行かない。
- その場にしゃがんで、ゆれのしずまるのをまつ。
- 係の人や店の人のいうことにしたがって、行動する。
- 平成16年のインド洋大津波でもわかるように海辺やみななどでは、津波のきけんがあります。できるだけ遠くの高い場所にいそいでひなんしてください。



大じしんがおこったときの学校は……

大じしんがおこったら、小・中学校は休みになります。いつ授業がはじまるかは、学校からお知らせがあります。また東海じしんの注意じょうほうが出されたときも休校になります。

③ じしんなどの災がいに備えて

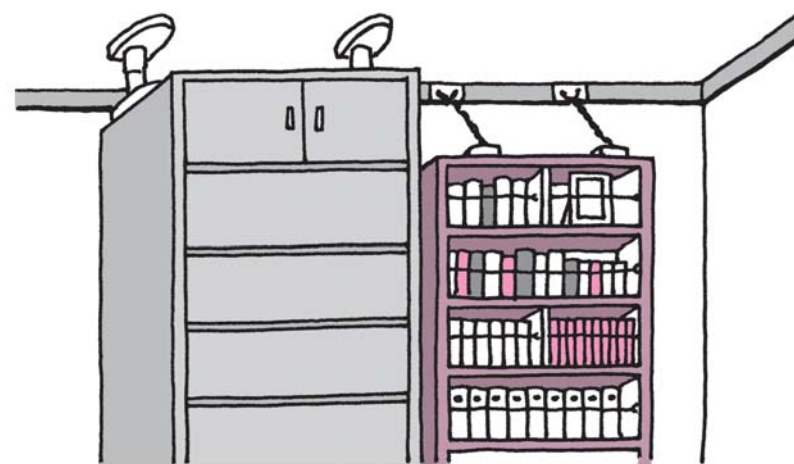
じしんや水が^{すい}いなどに備えて、ふだんから次のようなことに心がけたり、じゅんびをしておいてください。

◆学校の中で……………

学校では、火事やじしんなどに備えて、ひなんくんれんをしています。ひなんくんれんは、みんなのたいせつな命^{いのち}をまもって、安全にひなんするためのれんしゅうです。

先生のいうことにしたがって、しんけんにやりましょう。

出入口^{ではいりぐち}や非常^{ひじょう}かいだん、ひなんの道すじ、ひなん場所をふだんからおぼえておきましょう。



◆みんなの家では……………

家ぞくの安全をまもるために、じしんに備えて次のようなことをしておくといいでしょう。家ぞくの一人ひとりがすべきことやバラバラになったときのおちあう場所もきめておきましょう。

《家の安全》

- たんすや戸^とだながたおれてこないように、固定^{こてい}する。
- 高い^{たか}ところにはものをおかない。
- ブロックべいなどがたおれないようにする。

《生活用品のびちく》

- ひとり3日分の食りょうとのみ水をよういしておく。
- おふろに水をためておくことも役に立ちます。
- かいちゅうでんとうやねんりょう
- けいたいラジオ
- したぎや防かんぎなどの衣るい
- くすり、ばんそうこう、ほうたいやトイレパック



4 みんなのきょう力

じしんや大きな災がいのときは、まわりのみんなときょう力して、できることからお手伝いしましょう。

5 「東海じしん」の注意じょうほう

「東海じしん」は、静岡県や愛知県を中心としておこる、前もってよそくのできる大じしんといわれています。東海じしんのおそれが高まったときには、「注意じょうほう」が出されます。「注意じょうほう」は、テレビやラジオで放送されますが、市のこうほう車やヘリコプターなどでもお知らせします。この「注意じょうほう」が出されると、小・中学校は休校となりますが、市内の電車やバスは動いています。

◆きんきゅうじしんそくほう

強いゆれが来る前に、じしんがおこったことをテレビやラジオなどでしらせる仕組みです。そくほうが出てからゆれるまでの間は数秒から数十秒しかないので、そくほうをきいたときは、机の下にもぐるなど自分の身を守る行動をとりましょう。

も く じ

- ① ^{だい}大じしんのおそろしさ…………… 1
- ② 大じしんがおこったら…………… 5
- ③ じしんなどの災^{さい}がい^{そな}に備えて…………… 12
- ④ みんなのきょう力^{りょく}…………… 15
- ⑤ 「東^{とう}海^{かい}じしん」の注^{ちゅう}意^いじょうほう…………… 15
- ⑥ こう水^{すい}などさまざまな災^{さい}がい^{そな}について… 16

◆保護者のみなさまへ

この冊子は、地震が起きたとき、どうしたら安全に身を守ることができるかを、児童に理解させ、どこにいる場合でも、安全な行動ができるようにと願って、つくったものです。

個々の内容については、御家族でも十分話し合っていたいただき、実情に併せ、非常の場合どんな行動をとったらよいか、更に理解を深めていただきたいと思います。

地震はいつ起きるかわかりません。

大きな地震が起きてから対策を考えるのではおそすぎます。学校では定期的に避難訓練をして、地震災害をできるだけ少なくする努力をしています。日頃の準備と心がけが何よりも大切なのです。

じゅうしょ	よこはまし	く
でんわ		
ほごしゃの なまえ		
けつえきがた		
しんさいじ ひなんばしょ		
かぞくと おちあうばしょ		